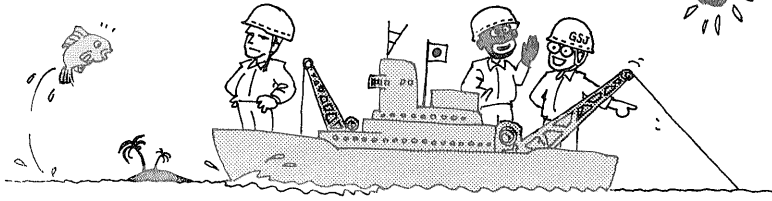


海外室だより



No. 16

20年目の地下水コース研修員

昭和61年度の地下水資源開発集団研修コースは アジア・アフリカ・中南米の8か国から計10名の研修員を迎えて 去る8月26日に開講しました。

すでに皆さん御存知のとおり 本コースは今年ちょうど20年目に当たります。コースの概要やスケジュールについては 次号の「地質ニュース」に述べさせていただくとして ここでは成人式を迎えた節目の年の研修員を御紹介いたします。研修員はいずれも自国において 地下水の開発や管理に熱心に取り組んでいる第一線の中堅技術者です。

カルロス (ブラジル)

Carlos Alvin Heine

リオグランデ衛生公社勤務の地質専門家

ヘンリー (ドミニカ共和国)

Henry Felipe Adames Rodriguez

国立水資源研究所勤務の地質専門家

アデル (エジプト)

Adel El-Sharkawy

開拓省農業開発本部勤務のさく井地質専門家

マハ (エジプト)

Maha Ismail El-Hakim (Miss)

灌漑省水研究センター勤務の水力学専門家

ジャキテ (マリ)

Nouman Diakitè

水利エネルギー局勤務の地質専門家

スレッシュ (ネパール)

Suresh Raj Uprety

灌漑・水文・気象局地下水資源開発事業部勤務の水利地質専門家

モハメッド (スーダン)

Mohmed Mustafa Farag Alla

国立水公社勤務の地質専門家

リオ (スワージーランド)

Leo Linda Kanya

地質調査鉱山局勤務の地質専門家

アピナン (タイ)

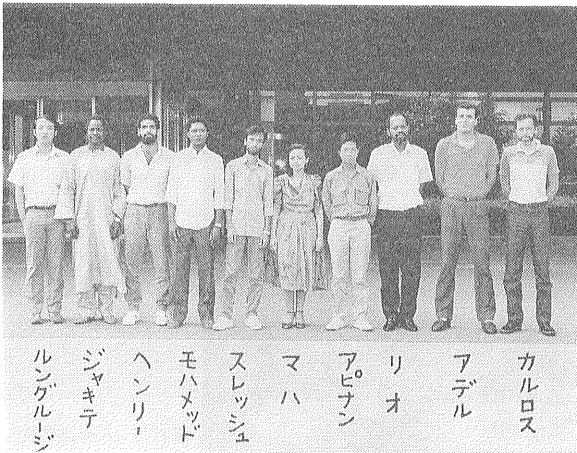
Apinun Porananond

内務省地方開発促進事務所勤務の土木技術専門家

ルングルージ (タイ)

Roongroj Kiatpanichkit

土木局勤務の水利地質専門家



カルロス
アデル
リオ
アピナン
マハ
スレッシュ
モハメッド
ヘンリー
ジャキテ
ルングルージ

では各国の言葉で「おはようございます」と話していただきます。

ボン ジア (ブラジル)

ブエノス ディアス (ドミニカ共和国)

サバ エルキュール (エジプト スーダン)

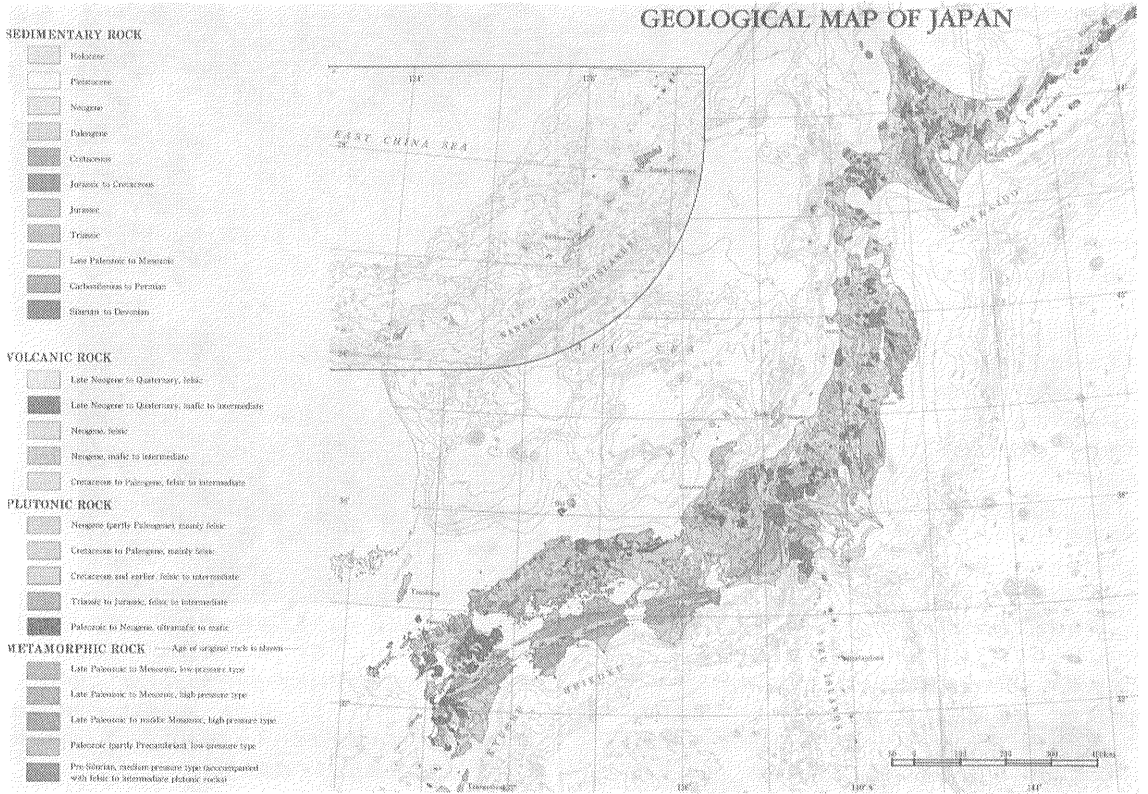
イニソコマ (マリ)

ナマスカル (ネパール)

グンレ (スワージーランド)

サワディクラップ (タイ)

(石井)



クリスマスカード 1986

外国では地質図を絵葉書にすることが多く 海外室にはしばしばこの種絵葉書の交換を求める手紙が届きます。一例として オーストリアからのものを載せておきます。ところが 我が国には日本全体の地質図を絵葉書大にまとめたものがありません。数年前のクリスマスカードに日本で最初に出版された地質図として 日本蝦夷地質要略図(ライマンほか 1876)を使ったことはあります。これは歴史的には記念すべきものですが日本の地質を紹介するものとしては 適当とは言えませんでした。

こうした背景もあり 今年のクリスマスカードを作る時期を迎えて 今回は日本の地質図にしようという気運が強くなりました。そこで 海外室では原図の選定や全体のデザインなどについての検討を重ねました。日本列島は南北に長く 地質も複雑なので 限られた枠内に形良くかつ彩り良く収める作業は 以外に楽ではありませんでした。予算的にも時間的にも新しい版を起こすだけの余裕はないので 既存の地質図の中から最も適当なものを選び それを可能な範囲でモディファイする方針がとられました。その結果 全体の色合いが最も

スッキリしてスケールも妥当な 今井・一色編(1982) 5百万分の1日本地質図(第4版)を原図とし 凡例を若干修正することによって ここに紹介するものが出来上りました。

カラーでお目につけられないのが残念ですが 現物は色あざやかで 日本の地質の大綱も比較的分かり易く 海域の淡いブルーの中に海底地形も良く表現され ますますの出来ではないかと自負しています。完成に至るまでには 広報の山本さんに何かと御協力頂いたことを付記しておきます。(寺岡・遠藤)

